★★令和7年度　物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金実施状況

（千円）

No	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③経費内訳 ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業期間	総事業費	交付金充当額	事業の成果・評価等	備考
1	世羅町住民税非課税世帯支援給付金・世羅町住民税非課税世帯（こども加算）支援給付金・世羅町定額減税補足給付金（不足額給付）	①物価高が続く中で低所得世帯への支援を行うことで、低所得の方々の生活を維持する。 ②低所得世帯への給付金及び事務費 ③R6・R7の累計給付金額 令和6年度低所得世帯　1,638世帯×30,000円＝49,140,000円 子ども加算　143人×20,000円＝2,860,000円 不足額給付2,921人：57,450,000円 事務費　5,378,048円（会計年度職員165,876円、消耗品47,201円、印刷製本224,840円、通信運搬602,490円、システム改修4,337,641円） ④低所得世帯等の給付対象世帯、定額減税を補足する給付（うち不足額給付）の対象者	R7.2～R7.9	114,828	114,828	◆対象世帯に対する支給を開始日 【目標】令和7年3月 【実績】低　所　得：令和7年3月19日 子ども加算：令和7年3月26日 不足額給付：令和7年9月17日 【成果・評価】 エネルギー・食料品等価格の物価高騰の影響を受けた低所得者の子育て世帯で、世帯内で扶養されている18歳以下の子どものいる世帯、低所得世帯及び令和6年度に実施した定額減税補足給付金（調整給付）の支給額に不足が生じる方に給付金を支給し、生活の維持に寄与した。	完了 R6年度実施 R6年→R7年繰越事業
2	防犯力強化重点支援事業	①物価高騰の影響を受けている生活者を支援し、地域の防犯力を強化するとともに、犯罪の未然防止及び安全で安心なまちづくりを推進するため、町内の住居等における防犯対策に要する購入費用の一部を補助する。 ②防犯カメラ、センサーライト、防犯機能付電話機等防犯対策用品購入への補助金 ③防犯カメラ等の防犯対策用品の購入費（設置費、工事費除く）の1/2補助 防犯機能付き電話機等購入費30件：302,000円 防犯対策用品購入費106件：992,000円 ④町内に住所を有する者（個人）	R7.4～R8.3	1,294	1,294	◆当補助事業による防犯カメラの犯罪捜査時の警察への映像提供の同意取得率 【目標】70%以上 【実績】99% 【成果・評価】 物価高騰の影響を受ける生活者の負担軽減に寄与するとともに、防犯カメラ及びセンサーライト等の設置により、地域の防犯体制の強化が図られた。また、防犯カメラの設置に当たっては、事件等発生時に警察へ映像データを情報提供することについて同意を得た運用体制を整備しており、地域・警察が連携した実効性のある防犯体制の構築につながった。	完了
3	地域公共交通燃油費高騰支援事業	①地域公共交通の維持を図るため、燃油価格高騰により収益が悪化している公共交通事業者（一般乗用・一般乗合）に対して支援を行う。 ②公共交通事業者への支援金 ③令和3年9月を基準月とし令和7年1月～12月分の燃油高騰分の1/2 バス　11台：1,243,800円 タクシー29台：　575,700円 ④町内に本社又は営業所を置く一般乗合旅客自動車運送事業及び一般乗用旅客自動車運送事業を営む事業者（法人及び個人）	R7.4～R8.3	1,820	1,820	◆支援事業者の事業継続率 【目標】100% 【実績】100% 【成果・評価】 一般乗合（路線バス）・一般乗用（タクシー）旅客自動車運送事業を営む6事業者に、燃油高騰分の差額1/2の支援を行い事業継続に寄与した。	完了
4	物価高騰対策農業経営収入保険助成事業	①収入保険加入を促進することで生産資材価格高騰等の経営リスクを軽減し、安定的な営農継続に繋げる。 ②農業者への支援金 ③収入保険加入に係る保険料等の1/2を補助（上限30万円） 6,482,000円 ④世羅町内農業者	R8.1～R8.3	6,482	6,482	◆支援事業者の事業継続率 【目標】100% 【実績】100% 【成果・評価】 広島県農業共済組合を通じて、115農家に支援金を支給し、事業継続に寄与した。	完了

Ｎｏ	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③経費内訳 ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業期間	総事業費	（千円） 交付金 充当額	事業の成果・評価等	備考
5	飼料価格高騰対策支援事業	①国際情勢に伴う飼料原価の上昇や為替相場の影響等による、粗飼料及び配合飼料の価格の高騰により、持続的な畜産経営に影響を受けている畜産農家を支援する。 ②畜産農家への支援金 ③令和6年10月1日～令和7年3月31日購入飼料代のうち価格高騰分の費用 飼料価格高騰分の1/2を補助　上限1,000,000円 上限想定12件(12,000,000円)＋他の農家11件(5,000円/t×617.5t)≒15,088,000円 ④世羅町畜産振興連絡協議会会員及び町内の畜産農家	R7.4～R8.2	15,088	15,088	◆支援事業者の事業継続率 【目標】100% 【実績】100% 【成果・評価】 世羅町畜産振興連絡協議会会員等、町内で営農を営む23農家を支援し、事業継続に寄与した。	完了
6	学校給食費保護者負担軽減支援事業	①学校給食費について、賄材料費の高騰に伴い保護者負担の軽減を図るため支援を行う。 ②小中学校の学校給食費の物価高騰分に係る費用(賄材料費) ③町立小中学校対象者数(教職員分は含まない) 小学生605人×29円(高騰分)×給食日数198日分＝3,473,910円 中学生324人×32円(高騰分)×給食日数198日分＝2,052,864円 ④小中学校に通う子どもを持つ保護者	R7.4～R8.3	5,527	5,000	◆安心安全な給食を提供し、保護者の負担の軽減を図る。 【目標】ー 【実績】ー 【成果・評価】 物価高騰による給食食材に係る費用の一部を支援することで、保護者の負担軽減を図るとともに、安心安全な給食を提供することができた。	完了 一般財源 527千円
7	世羅中央病院企業団支援金	①物価高騰の影響を緩和するため、物価高騰の影響額の一部を支援することにより、地域の医療基盤の維持を図る。 ②病院への支援金 ③公立世羅中央病院 (光熱費等)病床数155床×12,000円＝1,860,000円 (食材料費)病床数155床×　2,500円＝　387,500円 公立くい診療所(光熱費等):40,000円 1,860,000円+387,500円+40,000円×77.1%(構成団体負担割合)＝1,763,663円 ④世羅中央病院企業団	R7.6～R7.7	1,764	1,764	◆支援事業者の事業継続率 【目標】100% 【実績】100% 【成果・評価】 原油価格・物価高騰による光熱費や食材費などの高騰の影響を緩和するため、世羅中央病院企業団に対して価格高騰の影響額の一部を支援金として支給し、地域の医療基盤の維持に寄与した。	完了
8	中小企業融資利子補給	①エネルギー価格などの物価高騰の影響を受ける中小企業者の事業継続を支援するため、町預託融資を活用した中小企業者に対して支援を行う。 ②利子補給 ③中小企業者の支払い利子(利子補給1.4%) 204事業者:21,706,628円 ④町預託融資を活用した中小企業者	R7.4～R8.3	21,707	20,839	◆支援事業者の事業継続率 【目標】100% 【実績】100% 【成果・評価】 町預託融資を活用した中小企業者の支払い利子(1.4%)について利子補給を行い、事業者の負担軽減を図ることにより、事業継続に寄与した。	完了 一般財源 868千円
9	ひとり親世帯生活応援給付金事業	①物価高が続く中で、食費等の物価高騰等に直面する児童扶養手当の支給を受けているひとり親世帯に対して給付金を支給する。 ②ひとり親世帯生活応援給付金 ③給付金:128人×20,000円＝2,560,000円 事務費:郵券代　82世帯×110円＝9,020円 ④児童扶養手当(令和7年12月時点)の支給者	R8.2～R8.3	2,569	2,569	◆対象世帯に対する支給を開始日 【目標】令和7年3月 【実績】令和8年3月11日 【成果・評価】 物価高騰が続く中で給付金を支給し、児童扶養手当の支給を受けているひとり親世帯へ生活の維持に寄与した。	完了

Ｎｏ	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③経費内訳 ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業期間	総事業費	（千円） 交付金 充当額	事業の成果・評価等	備考
10	児童福祉施設物価高騰支援事業	①エネルギー等の物価高騰の影響を受けている町内の児童福祉施設等に対し、事業を継続するため、支援金を支給する。 ②児童福祉施設への支援金 ③エネルギー及び食材料費高騰支援 ・光熱水費：R3年分と令和7年分のエネルギー経費の差額の1/2 3,485,366円×1/2≒1,741,000円 ・食材料費：（40円×268人×20日×12ヶ月）×1/2≒1,285,000円 ④町内の認定こども園	R8.2～R8.3	3,026	2,648	◆支援事業者の事業継続率 【目標】100% 【実績】100% 【成果・評価】 町内の私立認定こども園（3施設）に対し、事業継続に必要な経費（電気・ガス）や食材料費を支援することで安定した事業運営に寄与した。	完了 県補助金 378千円
11	世羅町社会福祉施設等物価高騰支援金支給事業	①エネルギー価格や食材料価格の高騰による影響を受けた介護サービス事業所・施設等の経営を支援する。 ②社会福祉施設等への支援金 ③介護サービス事業所及び施設等のR7.1月～12月分の光熱費。通所系・小規模多機能系サービス事業所及び入居・居住系サービス事業所等の食材料費。 ・光熱費：令和3年1月～12月分の経費と令和7年1月～12月分の経費の差額の1/2 35,014,000円×1/2＝17,507,000円 ・食材料費：（40円×利用者延人数×食事提供数×12ヶ月）の1/2 17,918,000円×1/2＝8,959,000円 ④世羅町内の介護サービス事業所及び施設等	R8.2～R8.3	26,466	23,159	◆支援事業者の事業継続率 【目標】100% 【実績】100% 【成果・評価】 町内の介護サービス11事業者・障害サービス4事業者に対し、サービスの質を維持するために負担した経費（電気・ガス・燃料費や食材料費）を支給することで、物価高騰のために利用者に価格転嫁することなく、安定した事業運営を維持継続することができた。	完了 県補助金 3,307千円
12	地域商品券発行事業	①世羅町内で使用可能な商品券を発行し、エネルギー・食料品価格等の物価高騰に直面する全町民の家計の負担を迅速に軽減を図る。 ②商品券、印刷費、役務費、委託料 ③商品券　10,000円×14,200人＝142,000,000円 消耗品　816,000円 商品券印刷代　3,000,000円 郵送費　3,234,000円 送り状印字委託　297,000円 商品券換金業務委託　8,892,000円 ④令和8年2月6日時点で世羅町の住民基本台帳に登録されている全住民。使用可能な店舗は公募による町内事業者。	R8.2～R9.3	158,239	158,239	◆商品券配布対象世帯の負担軽減額 【目標】10千円/人 【実績】－ 【成果・評価】－ ※事業実施中	R7年→R8年 繰越事業
13	地域商品券発行事業 （とくとく商品券）	①エネルギー・食料品価格等の物価高騰に直面する全町民の家計の負担をの軽減を図るとともに、町内の消費行動の促進と購買額の増加に寄与することを目的に、プレミアム付与の商品券を発行する。 ②補助金 ③プレミアム分　20,000,000円 事務費　2,000,000円 ④世羅町商工会加入の商品券発行事業に登録した町内商工事業者利用者	R8.2～R9.3	22,000	4,679	◆商品券配布対象世帯の負担軽減額 【目標】5千円/人 【実績】－ 【成果・評価】－ ※事業実施中	R7年→R8年 繰越事業 一般財源 17,321千円
合　　計				267,352	260,021		